

申請先：一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「防災業務アプリケーションユニット」製品 PF準拠確認チェックリスト 準拠登録申請書(表紙)

APPLIC 登録番号： T220001-0001 ★APPLICで記載

※赤字部分は、V2.8からV2.9の変更部分を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2014  
・防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.1  
・プラットフォーム通信標準仕様V2.3

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2015年2月18日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 静岡県 ★識別キー項目1

団体のURL: http://www.pref.shizuoka.jp/ (識別キー項目3つでユニークになるように申請者が指定する)  
APPLIC会員番号: T220001

(d) 製品情報

製品説明のURL: [ ]

代表製品名: ふじのくに防災情報共有システム ★識別キー項目2

複数製品で構成する場合追記: [ ]

複数製品で構成する場合追記: [ ]

複数製品で構成する場合追記: [ ]

製品識別情報(バージョン等): Ver.2015 ★識別キー項目3

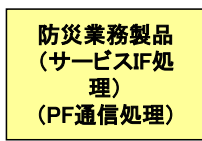
リリース日(予定)(西暦年月日): 2015年4月1日

対応OS: アプリケーション基盤「force.com」  
(セールスフォース・ドットコム社クラウドサービス)

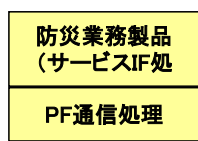
製品の形態((1)型から(4)型): (1)型

全て同一提供者 (PF通信内部実装型)      全て同一提供者 (製品分離型)

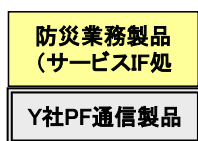
Y社、Z社の製品を  
前提製品として申請



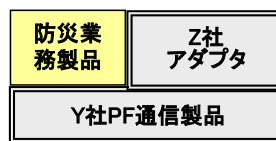
(1)型



(2)型



(3)型



(4)型

Z社アダプタにより、  
防災ユニット  
サービスIF  
処理を実現

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名: [ ] ※1

前提PF通信製品名: [ ] ※1

前提のアダプタ製品名: [ ] ※2

※1 (2)型から(4)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

※2 (4)型の場合、防災業務アプリケーションユニットのサービスインタフェースを実現するアダプタ製品の製品名を記載する。

【付録2.4】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「防災情報共有ユニット」

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/選択	製品確認	APPLIC確認欄
1	防災情報共有	国や都道府県、市町村、その他災害対応活動に関わる団体が個々に保有する災害情報をそれぞれの団体間で共有し、各種災害情報を閲覧、入手することを可能とし、各団体の災害対応活動の向上に寄与することを実現する。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様の【業務1-2.4.7.8.9(AB01防災情報共有)、業務1-13】を参照)		◎	○
1-1	防災業務アプリケーションユニットが提供する機能を持つ	防災業務アプリケーションユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須	◎	
1-2	防災業務アプリケーションユニットのデータ項目を持つ	防災業務アプリケーションユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を最低一つ以上提供できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須	◎	
		災害情報	選択	◎	
		災害概況即報	選択	◎	
		被害状況即報	選択	◎	
		被害状況_付加情報	選択		
		被害状況_詳細情報	選択	◎	
		避難勧告_指示情報	選択	◎	
		避難所情報	選択	◎	
		避難者情報	選択		
		災害対応活動情報	選択		
		配備体制情報	選択	◎	
		通行規制情報	選択		
		水防活動情報	選択		
		自治体基礎情報	選択		
物資_資機材備蓄情報	選択				
道路被害情報	選択				
橋梁被害情報	選択				
映像情報	選択				
1-3	防災業務アプリケーションユニットのインタフェースを持つ	防災業務アプリケーションユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、防災業務アプリケーションユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号AB0101-1～AB0117-1とインタフェース番号AB0101-2～AB0117-2 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須	◎	
1-4	コード辞書に対応	防災業務アプリケーションユニットは、利用側の防災業務アプリケーションユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須	◎	
1-5	サイト内要件に加えサイト間要件のPF通信機能を持つ	①防災業務アプリケーションユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須	◎	
		②PF通信機能(SOAP)は、SSL3.0(TLS1.0)のサーバ認証、SSL3.0(TLS1.0)のクライアント認証、SSL3.0(TLS1.0)による通信路暗号が利用できること。	必須	◎	
		③防災業務アプリケーションユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、プラットフォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される共通ヘッダの処理ができること。	必須	◎	
		④防災業務アプリケーションユニットは、プラットフォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される添付ファイル形式のPF通信を行えること。	必須	◎	
		⑤防災業務アプリケーションユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの一つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須	◎	

備考欄(前提条件や制限事項)

【付録2.4】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「防災情報共有ユニット」

本システムに関する技術的事項の問合せ先は以下の通り。

株式会社SBS情報システム

住所：〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-1

TEL:054-288-2581

E-Mail:k\_minoda@sbs-infosys.co.jp